

エコ -Eco Mystery- ミステリー



エコロジ探偵

「エコ」に関することをたくさん知っているよ



スクワール助手

好奇心旺盛で「エコ」に関するいろいろなミステリーを見つけてくるよ

ミステリーファイル①9 / ビーバーダム



※イラストはイメージです

探偵手帳

ビーバー

主に北アメリカ大陸に生息するアメリカビーバーと、ヨーロッパやロシア、中国などに生息するヨーロッパビーバーがいる。潜水能力に優れ、丈夫な歯で大木を切り倒すことができる。帽子や上着の材料などとして毛皮が乱獲され各地で個体数が減少したが、保護や再導入活動(※)によって回復した。カナダでは5セントコインに描かれ、国獣となっている。(※)絶滅または絶滅の危機にある生き物を保護して、人の手で再び野生に戻すこと



ダム

河川の水をせき止めたり、水を蓄えたりするためにつくられた施設のこと。人間がダムをつくる目的は、生活・工業・農業などに使う水を用意する「利水」や、川の水の量を調整し災害を防ぐ「治水」のため。ちなみに、森林は雨水を蓄えるはたらきがあるため「緑のダム」とも呼ばれる。



エコロジ探偵！ 大変です！ ビーバーが人間のようにつくつくるダムをつくる工事をしたそうです！ 夢でも見ているのでしょうか？



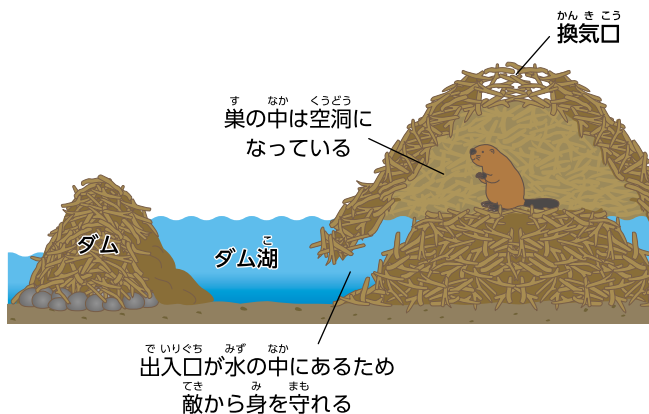
人間がつくるダムと同じように、水量を調節しているのですね

まあ落ち着きなさい。それは、ビーバーのダムをつくる習性のことですね。人間がダム工事を計画していた場所にダムをつくらしたこともあり、話題になりました。また、世界遺産に登録されているカナダの国立公園では、サッカー場10面分にもなる大きなダムをつくらしたそうですよ



なぜ、ビーバーはダムをつくるのでしょうか？

ビーバーの巣にヒントがあります



消火機能

ダム周辺は水を多く含むため燃えにくい。アメリカで発生した大規模な森林火災の際には、ダム周辺では植物の生存率が3倍になっていたという研究結果がある。

浄化機能

水の流れを弱めることにより不純物を沈殿させ、また木や泥でつくられたダムがろ過のはたらきをする。

生物多様性の創出

止水域（水の流れがほとんどないところ）にすむ生き物が集まり、新しい生態系が生まれる。



周囲の環境に、たくさんの影響を与えているのですね！ ビーバーが近くでダムをつくってくれたら、火災があっても安心できる気がします



そうか！ ダムをつくって、水をせき止めたところに巣をつくるのですね！ けれど、水が増えたら巣が沈んでしまいませんか？

水量が増えたらダムの高さを覚えて、排水しているのだから大丈夫です



なるほど。なかなか難しい問題なのですね

